

わたしの 妊娠報告書

記載日 1423年11月4日

おめでた宣言日	平成23年 10月
年齢 (29) 歳	平成 (21) 年 (2) 月 結婚
私は (顕微授精)	で妊娠しました。

不妊治療歴	(1) 年 (3) ヶ月
他院での治療歴	なし (あり) → 内容 (人工授精)
ASKAでの治療歴	
一般不妊治療	
<input checked="" type="checkbox"/> 自然排卵 タイミング法	(1) 回
<input checked="" type="checkbox"/> 排卵誘発 タイミング法	(3) 回
<input type="checkbox"/> 自然排卵 +人工授精	() 回
<input checked="" type="checkbox"/> 排卵誘発 +人工授精	(3) 回
生殖補助医療	
<input type="checkbox"/> DOST 法	() 回
<input type="checkbox"/> 体外受精	() 回
<input checked="" type="checkbox"/> 顕微授精	(1) 回

妊娠の秘訣・心がけていた事

冷えないように注意していました。毎日葉酸2錠なめてました。
周りからあまり赤らちゃん欲しいと考えないようにした方が良いと
言われましたが、毎日考えてしまいました。
生理が来たら次頑張るといいお酒飲んだりしました。
できるだけリラックスした毎日を過ごすように心がけてました。

わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦労話し

治療内容

人工授精をする上では苦痛はありませんが、生理がくる度に涙しました。
顕微授精お1ヶ月前からの準備期間で内服を忘れずに
飲む、点鼻薬も忘れずにする、筋肉注射... 何本打ったのかたぐん打つ
ました。気を使い大変でした。でも、赤ちゃんに会えるため、必死で
頑張りました。主人は精子が少ないので漢方薬毎日飲んでくれました。

その他 (通院・治療費・家族など)

家が車で1時間くらい、治療費は私の収入を不妊治療に当てる
ようにしていました。主人もいろいろ男としてこの葛藤があったと思います。
力もほましたが考え直して前向きに不妊治療に協力してくれました。
両親も不妊治療に対して理解してくれました。でも、時々「早く孫が...」
と言われると焦りました。

治療中の方へのアドバイス

旦那さんの理解と協力はとても重要です。ちゃんと話せば「分かってくれるはず」
私は何苦労しました。あと、赤ちゃんと出会いたい気持ちを失くすことは
無理だと私は思います。私は開き直って頑張るようになりました。
思えば顕微授精に臨んだのもこの気持ちがあったからだと思います。
治療中のみなさんに赤ちゃんとお出会うように祈っています。

スタッフへのご意見など

中山先生、スタッフの方々 いつもし丁寧な対応して頂きました。
不安がある時ちゃんと話を聞いてしっかりとアドバイスしてもらい
とても心強く助かりました。
2人目もお世話になるかもしれませんがよろしくお願いします。
ありがとうございました。